

令和5年度 那須塩原市まち・ひと・しごと創生推進懇談会 会議要旨

開催日時 令和6(2024)年2月7日(水) 13時58分から15時25分まで

開催場所 那須塩原市市役所本庁舎303会議室

出席委員 10名

欠席委員 1名

那須塩原市 企画部長

事務局 那須塩原市 企画部企画政策課 4名

1 開 会

2 あいさつ(企画部長)

- 当懇談会については、本市の総合戦略に基づく取組を進めていくにあたり、関係団体、有識者の委員の皆様からご意見をいただくために毎年度開催しているもの。
- 本日は、「第2次総合戦略」、「デジタル田園都市国家構想交付金を活用した取組」及び「新型コロナウイルス感染症対応臨時交付金事業」についてご意見をいただきたい。

3 会長及び副会長の選出【資料1】

- ・ 会 長 宇都宮共和大学 陣内 雄次氏
- ・ 副会長 西那須野商工会 佐藤 幹雄氏

4 議事

- (1) 第2次総合戦略の取組について【資料2-1、2-2、2-3】
- (2) デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生拠点整備タイプ)事業について【資料3】
- (3) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業について【資料4-1、4-2】
- (4) その他【参考資料】

(次ページへ続く)

《委員からの主な意見》

・第2次総合戦略の取組について

- 特になし。

・デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生拠点整備タイプ）事業について

- K P I を大幅に超過している項目については、より高い目標値を設定した方が意欲向上につながる。
- 今後、アグリパル塩原をどのように事業拡大していくのか検討する必要がある。
- 事業実施主体の後継者問題については注視している。
- 従業員の待遇改善に向けた検討を事業主体と一緒に行ってほしい。
- 事業としてはK P I を達成していて素晴らしい取組であるが、長期的に見た場合の課題についても検討していく必要がある。

・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業について

- プレミアム付共通商品券事業については、大型店と一般店で使えるものに分けて用意したが、消費者はもちろん参加した商店にも恩恵が大きかったと思う。
- 農業については、物価高騰の影響で肥料や粗飼料が高止まりしている状況なので、引き続き支援をお願いしたい。
- プレミアム付共通商品券については、予算の関係もあるとは思いますが希望者全員が購入できるように検討してほしい。
- 当該交付金については金額的にも有用なものであるので、次年度以降も上手く活用して地方創生につなげていただきたい。
- プレミアム付共通商品券事業以外にも多くの事業を実施しているが、市民には認知されていない部分も多い。ホームページへの掲載といったことだけではなく、工夫してP Rをしてほしい。
- 今後、交付金の額や用途が限定されていくことが予想される。貴重な財源なので、有効に活用してほしい。
- 交付金の活用については担当課から入ってくる情報だけではなく、幅広い情報を集められるようなシステムを作って有効に活用してもらいたい。

4 その他（人口減少について）

- 18歳の大学就学時に転出して大学卒業する頃に戻ってくるというような傾向が続いている。しっかりと人口動態を分析してほしい。
- 移住創業支援についても、連携協定を締結して取り組んでいる。実績も出てきているので引き続き支援願いたい。

（次ページへ続く）

- 移住創業支援をしているが、創業希望者の見込みが甘いところがあるので、そういった部分もサポートが必要である。
- 学校について、大山小学校のように生徒がとても多いところもあれば、塩原小中学校のように全校生徒が50人を切るような学校もある。このような偏りを平準化できるような施策があるとよい。例えば、小規模特認校に通う生徒には別の地区からもスクールバスを出すといったように、通える学校の選択肢を増やすことで、より市の魅力が高まると思う。
- リゾートとしてのブランド力はとても高い。しかし、それだけではなく、教育環境や住みやすさといったことを総合的に考える必要がある。戦略的に訴求力を高めて社会増につなげていけるとよい。
- 那須塩原市のように社会増の維持といったようなポジティブな戦略をかける市町は県内でも少ない。移住者や定住者の引き込みだけでなく、今住んでいる方が楽しく快適に生活していくためにどうすれば良いのかも考えていく必要がある。
- 移住をしてきたら交付金を出すというような施策ではなく、移住希望者が自発的に住みたくなるような魅力的なまちづくりをしていきたい。
- 農業についても後継者問題が深刻である。東京にいる方でもこれから農業をやりたいという希望はあるはずなので、うまく新規就農につなげられるようなことを考えていきたい。

5 閉 会 (15時25分)